

<イベントレポート>

俳優 長塚京三さん、最初で最後の“生ナレーション”披露！

# 「そうだ 京都、行こう。」25周年記念ポスター展 オープニングイベント

～25年間を振り返る展示会が10月9日（火）より都内3ヶ所で順次開催～

東海旅客鉄道株式会社は、10月9日（火）より都内3ヶ所にて順次開催される「そうだ 京都、行こう。」25周年記念ポスター展のオープニングイベントを、同日に開催いたしました。当日はゲストとして、25年前のキャンペーンスタート時より一度も変わることなく、「そうだ 京都、行こう。」CMのナレーションを務め、2018年秋新CMが最終作品となる俳優 長塚京三さんが登壇。本キャンペーンの25年間を振り返りました。



長塚京三さんは最初のご挨拶にて、「季節の到来を告げるような、良い役回りをさせていただきました。とっても気持ちよくお仕事をさせていただき、ありがとうございます。」と、感謝の言葉を述べました。

また、ともに 25 年間 CM を作り上げてきた監督の高崎勝二さんと、印象深い作品やナレーション収録時のエピソードについてトークセッションを展開。25 年前の第 1 作目「1993 年秋・清水寺」については、歳の近い長塚さん、高崎さんが顔を見合わせて「若かったなあ」と微笑み合うシーンも。高崎さんは「秋の CM だが夏に撮影したため、秋らしく見せるのが大変だった。」と撮影秘話を公開。長塚さんは「実は第 1 作目と今回の 2018 年新 CM だけ、ナレーションで『そうだ 京都、行こう。』と声に出しているんです。」とお話されました。

さらに、長塚さんが第 1 作目の“生ナレーション”を披露。いつもと違う環境での、初めての生ナレーションに「やっぱり緊張しますね。」と照れ笑い。耳馴染みのある長塚さんのナレーションに、会場からは大きな拍手が起きました。

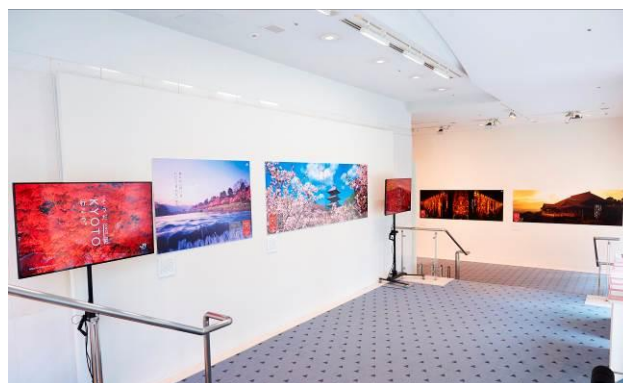
最後に 25 年間ナレーションを務めた感想を改めて聞かれると、「過去作品を振り返ると、色々あったんだなあと懐かしい気持ちになりました。この“懐かしさ”はご愛顧くださる視聴者の方も共通なのかもしれません。大変幸せな良い仕事に携わらせていただきました。」と語り、東海旅客鉄道株式会社から感謝の花束と記念品の盾を受け取ると、笑顔で会場を後にしました。



## ■「そうだ 京都、行こう。」25 周年記念ポスター展

10 月 9 日（火）より、過去 25 年間に本キャンペーンで使用された作品約 60 点が展示される「そうだ 京都、行こう。」25 周年記念ポスター展が、スパイラル、行幸地下ギャラリー、東京サンケイビル ブリックギャラリーにて順次開催されます。

スパイラルでは、監督の高崎勝二さんやコピーライターの太田恵美さんの思い出に残る作品 8 点を、それぞれのコメントとともに展示。行幸地下ギャラリーでは、約 60 点の作品が展示され、25 年間の本キャンペーンを振り返ることができます。東京サンケイビル ブリックギャラリーでは“秋”をテーマとした作品が展示されます。



※画像はスパイラルエスプラナード

【「そうだ 京都、行こう。」 25周年記念ポスター展 概要】

- ・スパイラルエスプラナード（スパイラル M2F） : 2018年10月9日（火）～10月16日（火）
- ・行幸地下ギャラリー : 2018年10月9日（火）～11月8日（木）
- ・東京サンケイビル ブリックギャラリー : 2018年10月10日（水）～10月26日（金）

<「そうだ 京都、行こう。」とは>

1993年10月に、平安京遷都1200年の節目を前にスタートしたキャンペーン。

2018年10月に丸25年を迎えます。

2018年1月8日（月）に開設された公式Instagram（@soudakyo\_official）は、フォロワー数10万人を突破（10月1日時点）。国内外から「京都に行きたくなった」、「このキャンペーンがきっかけで京都が好きになった」などたくさんのコメントが日々寄せられています。

キャンペーン25周年を機に、ロゴをリニューアルし、新しい展開も。この秋、そしてこれからの「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンに、どうぞご期待ください。

行こう。  
**KYOTO**  
 そうだ  
 SINCE 1993